

## 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	4,423,519,039	4,427,343,176	△ 3,824,137	固定負債	0	0	0
有形固定資産	1,009,302,351	1,023,243,788	△ 13,941,437	長期借入金	0	0	0
土地	505,945,014	505,945,014	0	学校債	0	0	0
建物	457,510,356	476,783,606	△ 19,273,250	長期未払金	0	0	0
構築物	369,326	414,846	△ 45,520	退職給与引当金	0	0	0
教育研究用機器備品	28,952,781	25,636,633	3,316,148				
管理用機器備品	3,152,990	3,311,430	△ 158,440				
図書	0	0	0	流動負債	261,667,485	244,484,813	17,182,672
車両	13,371,884	11,152,259	2,219,625	短期借入金	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	1年以内償還予定学校債	0	0	0
特定資産	96,450,747	96,450,747	0	手形債務	0	0	0
第2号基本金引当特定資産	0	0	0	未払金	23,554,350	27,561,848	△ 4,007,498
第3号基本金引当特定資産	0	0	0	預り金	7,599,635	7,328,737	270,898
(退職)引当特定預金	96,450,747	96,450,747	0	前受金	230,513,500	209,594,228	20,919,272
その他の固定資産	3,317,765,941	3,307,648,641	10,117,300	仮受金	0	0	0
敷金	21,123,400	21,123,400	0	未払消費税納税引当金	0	0	0
電話加入権	0	0	0	収益事業勘定	0	0	0
施設利用権	2,283,750	2,283,750	0				
ソフトウェア	479,700	846,900	△ 367,200				
有価証券	83,153,697	72,693,697	10,460,000				
収益事業元入金	3,210,400,764	3,210,400,764	0	負債の部合計	261,667,485	244,484,813	17,182,672
保証金・預託金	324,630	300,130	24,500				
流動資産	1,522,628,794	1,326,670,357	195,958,437	純資産の部			
現金預金	1,110,815,718	888,507,634	222,308,084	科目	本年度末	前年度末	増減
未収入金	900,550	1,565,314	△ 664,764	基本金	1,401,297,481	1,401,019,079	278,402
貯蔵品	7,505,314	13,181,190	△ 5,675,876	第1号基本金	1,401,297,481	1,401,019,079	278,402
前渡金	4,754,706	19,000	4,735,706	第2号基本金			
立替金	0	80,000	△ 80,000	第3号基本金			
前払金	25,190,277	29,878,050	△ 4,687,773	第4号基本金			
仮払金	481,470	△ 5,628	487,098				
預け金	0	0	0	繰越収支差額			
収益事業勘定	372,980,759	393,444,797	△ 20,464,038	翌年度繰越収支差額	4,283,182,867	4,108,509,641	174,673,226
資産の部合計	5,946,147,833	5,754,013,533	192,134,300	純資産の部合計	5,684,480,348	5,509,528,720	174,951,628
				負債及び純資産の部合計	5,946,147,833	5,754,013,533	192,134,300

(注記)

注記 重要な会計方針

重要な会計方針の変更等	なし
減価償却額の累計額の合計	426,441,471 円
徴収不能引当金の合計額	0 円
担保に供されている資産の種類及び額	担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。 土地 146,395,605円 建物 287,319,194円
翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額	27,065,271 円
当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策	有している
その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項	なし